

みらい

令和3年度
社会福祉法人福島県福祉事業協会 辞令交付式



二列目 山木 彩未 廣川 真紀 郡司 采佳 大越 陽生 新田 真子 鈴木 さくら 大関 万由
一列目 福澤 愛純 武田 愛花 荒 麻唯 理事長 吉田 明星 遠藤夏那美 鈴木 悠

東洋学園・成人部 支援員 福澤 愛純

「初めてのことがばかり分からないことが多くありますが、利用者さんに信頼してもらえようという明るく元気な支援員になれるよう日々努めていきたいです。」

東洋学園・児童部 保育士 武田 愛花

「大学入学前から夢見ていた仕事に就くことができ、とても嬉しく思います。一人ひとりのかわりを大切にしながら、私も共に成長していきたいです。」

東洋学園・児童部 保育士 荒 麻唯

「これから皆様とお仕事できることが楽しみであると同時に少し緊張も感じておりますが、利用者さんとの関わりなどを通して成長していきたいです。」

東洋学園・児童部 児童指導員 吉田 明星

「うれしいこと、楽しいことなど沢山の感情や成長の瞬間を利用者さんと共有し、共に成長しながら、皆さんが安心して過ごせるようお手伝いをします!!」

東洋学園・成人部 支援員 遠藤夏那美

「初めての職場で至らない点もあると思いますが、利用者さん一人ひとりへの理解を深めながら関わり、日々の生活を大切にしていきたいです。」

東洋健生園 支援員 鈴木 悠

「初めての仕事なので緊張していますが、利用者さんのよりよいサポートを目指して行動したいと思っています。皆さんの力になれる様になりたいです。」

東洋健生園 支援員 山木 彩未

「利用者さん一人ひとりの個性に合わせた支援、気持ちや考えを理解した支援を心がけて日々仕事に一生懸命取り組みたいと思います。」

東洋育成園 支援員 廣川 真紀

「夢だった障害者施設職員になれた事に喜びと社会人になる事への不安がありますが、利用者さんの個性を理解しながら学びの姿勢で働きたいと思っています。」

あぶくま更生園 支援員 郡司 采佳

「私は利用者さん一人一人への思いやりを大切に、理解を深め、支援を行いながら共に成長していきたいと思っています。」

のびっこらんど 公認心理師 大越 陽生

「ご利用者様の心理・発達面を心理職として丁寧に理解し支援につなげます。出来ることや得意なことに目を向けて対応したいと思っています。」

のびっこらんど・美山 保育士 新田 真子

「子どもたちとの信頼関係を大切に、一人ひとりの思いに寄り添える職員になれるよう日々たくさんの事を学び、子どもたちと一緒に成長していきたいです。」

のびっこらんど・船引 保育士 鈴木 さくら

「子ども達と関わるにあたり、明るく、思いやりのある援助を行い、一人ひとりの利用者さんとたくさんのコミュニケーションをとり自分自身も成長していきたいです。」

のびっこらんど・三春 保育士 大関 万由

「子どもたち一人ひとりの目線に立ち、気持ちに寄り添いながら子どもたちと共に成長していけるように頑張ります!!」

障がい者入所支援施設

東洋学園成人部 いわき市(四倉)

4月5日(月)にお花見に行きました。ドライブにて富岡町にある夜の森の桜並木を見ました。車の中ではありませんが、久しぶりの桜を見て「きれい!」「すごい!」と話す様子が見られました。あいにくの雨だったため、来年は晴れている日に見に行きたいですね!



4月5日



東洋健生園 いわき市(内郷)

バスドライブ～お花見号～

4月8日(木)に市内の三崎公園に出かけました!バスの中から桜並木ときれいな海を眺めることができました。久しぶりのバスドライブで気分転換ができてよかったです!バスから降りて春のあたたかな空気を感じてみんなにっこり!!笑顔がたくさんみられました。健生園に戻ってからは、芝生の上でお弁当を食べました。とてもいい天気の中、みんなで楽しく食べることができました!!



4月8日



東洋育成園 田村市(船引町)

1月～3月までの行事!

東洋育成園では、1月から3月までに様々な行事を催しました!まず、「1月・お好み焼き作り」と「2月・たこ焼き作り」です。お好み焼きはひっくり返す作業、たこ焼きは丸める作業に皆さん苦戦をしていましたが、とても美味しそうに出来上がりました!トッピングも自分たちで取り組んで、たくさん食べました☆

次に「3月・ひな祭りとケーキ作り」です。3月3日はひな祭りで、皆で歌を歌ったり、ケーキを作ってお祝いをしました☆ピアノも利用者の方が毎回弾いてくださり、とても上手です!!



1月・2月
お好み焼き作り
たこ焼き作り



3月3日
ひな祭り



あぶくま更生園 田村市(船引町)

3月25日

大好きなおでんの選択メニュー!!

3月25日(木)に令和2年度最後の選択メニューを実施しました。おでんと言ったら王道のたまごや大根・はんぺん・巾着・がんも・ちくわ・ごぼうの練り物から4つを選びお店感覚で温かいものを提供しました。一番人気は、やっぱりたまごと大根でした(^^)!



障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

原町共生授産園 南相馬市(原町)

**東日本大震災から
10年目を迎えました。**

東日本大震災の発生から10年の節目を迎えた3月11日、授産園では、追悼の灯と未来を照らす意味を込めて、キャンドルに明かりを灯しました。

皆の想いがこもったキャンドルは「キ・ボ・ウ」の文字を表し、夢と希望に満ち溢れた未来を照らしてほしいとの願いが込められています。

震災を忘れずにこれからも明るく楽しい生活を送っていきましょう!!

3月11日



福祉型障がい児入所施設

東洋学園児童部 いわき市(四倉)

3月18日(木)支援学校中・高等部、3月23日(火)小学校の卒業式を行いました。卒業生らしく堂々とした様子で、校長先生から卒業証書を受け取りました。先生や在校生から「卒業おめでとう」とお祝いされ、ニコニコとうれしそうな表情でした。卒業式後は、学園でお祝いオードブルを食べました。おいしかったネ!



職員さんと記念にパンチャリ!

3月18日
3月23日

巻き寿司やから揚げなどリクエストメニューを食べて、お昼のいっぱい!



原町学園 相馬市

3月27日、29日に卒園式を行い、原町学園から6名の利用者が卒園しました。コロナ禍で身動き取れず大変な時期ですが、負けずに皆さん頑張ってください!成長した姿を楽しみに待っています。改めて、卒園おめでとうございます。



3月27日
3月29日



障がい児通所支援事業所

のびっこらんど いわき市(久之浜)

カフェに行こう!

3月30日、社会体験でカフェにお邪魔してきました。事前にメニューの中から「500円で何を買おうかな?」と予習していたので、店員さんとのやりとりも自信を持ってできました!店内でフライドポテトやたい焼きを美味しく頂きました。

食べた後は公園で遊びました。天候にも恵まれ、子供たちの笑顔も桜も満開で楽しい一日になりました。



3月30日

のびっくらんど悠悠 いわき市(平)

節分 ～豆まきで鬼退治～

今年の豆まきはみんなで作った鬼の顔を狙って行いました。みんなに人気の鬼滅の刃のキャラクターも登場し、「全集中!」と一生懸命鬼退治することができていました(*'▽')今年1年健やかに過ごせますように♡



3月9日



のびっくらんど相馬 相馬市

相馬の春を満喫しました!

4月2日(金)花の便りに誘われて、今年も中村城址の馬陵公園まで春を感じに行ってきました!広い公園で密にならないように気を付けながら、石垣を「よいしょよいしょ」と登ると満開の桜が一望できるスポットへ。桜の香りと出店の匂いにつられながら、のんびり春を感じてきました♪

4月2日



のびっくらんどキララ 相馬市

未就学児の集団課題紹介

未就学さんの集団支援の課題として、楽器遊びや粗大運動、塗り絵、ゲーム遊び、行事の制作、おやつ支援などを行っています。

楽器遊びの課題の時に初めてタンバリンやカスタネット、トライアングルを見るお子さんもいて、楽器を見るなり興味津々♪音楽に合わせてたくさん音を鳴らし、体を左右に動かして楽しみました。ゲーム遊びの課題は、ボウリングや黒髭危機一髪、魚釣りなどお友達と競って勝敗理解にも繋げています。3月はひな祭り制作を行い、自分の顔写真をお内裏様やお雛様にしました。冠や烏帽子の貼り紙が小さく、のり付けを行う工程が大変なお子さんもいましたが、上手に完成させました(^O^)

4月1日



3月 ひな祭り



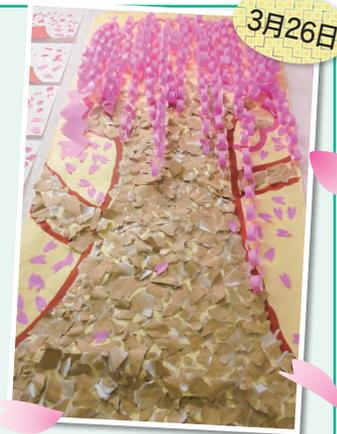
のびっくらんど愛愛 南相馬市(原町)

さくらの壁面飾り

新年度の壁面飾りとして「しだれ桜」をつくりました。花は折り紙の輪っかをつなぎ、木の幹はペーパー芯をねじって叩いてしわしわにしたものをびりびり破き、のりでペタペタ…。はらはら散る花びらをまわりに貼って、立派な飾りができました!

ペーパー芯破りは力を込めていい発散に、貼る作業は「ここあいてるよ〜」「こっちにしようかな?」と、自然にお子さん同士のコミュニケーションが生まれ、とても楽しい活動になりました。

3月26日



障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

のびっこらんど原町 南相馬市(原町)

はじめまして

4月2日(金)学童さんの初顔合わせ。新年度初登園日となったこの日の活動は「自己紹介」でした。初めて見るお友達もあり、中には新1年生の姿も。

人前でお話するのは緊張したけど、みんなきちんとご挨拶ができていました。

カルピスで乾杯しておいしいおやつを一緒に食べて、いつの間にか一緒に遊ぶ姿も見られていました。これから1年間仲良く、楽しく遊ぼうね!



4月2日

のびっこらんど田村 田村市(船引町)

3月の壁面

3月15日(月)、あおむしさん作りに取り組みました。あおむしの顔は、シールを貼ったり描いたりしました。あおむしの身体(緑・黄緑の丸い画用紙)は、スティックのりでつなげた後、身体にドット柄のシールを自由に貼っていきました。最後に触角をテープで貼って、個性豊かなあおむしが完成しました☆



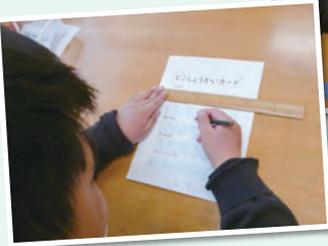
3月15日

のびっこらんど美山 田村市(船引町)

はじめまして よろしくね!

例年になく暖かい新年度の始まりとなりました。着任したばかりのスタッフと、高校1年生になったお子さんが、お互いにご挨拶しました。ちょっと恥ずかしいということで、事前に自己紹介カードを作り、それを見ながら伝えました。緊張したのは、新任の真子先生も同じです。新しいステージを迎えたフレッシュな二人に、そして今年何かにチャレンジしたいあなたにもエールを送ります!自分のペースで、歩いていきましょう!

4月1日



のびっこらんど船引 田村市(船引町)

作品集作り

令和2年度に、子どもたちが勉強した教材を、ファイルに作品集としてまとめました。

子どもたちには、ファイルの表紙に、それぞれ好きな絵を描いてもらいました。

お友達の中には、自分がやってきた勉強を見返し、思い出に浸っている姿も見られました。

令和3年度もたくさん勉強し、大きく成長する子どもたちが今からとても楽しみです。



3月8日



のびっこらんど三春 田村郡(三春町)

さくら満開大作戦!!

4月5日

4月5日(月)より、新年度がスタートしました。スタンプを使って、小さな手に桃色のスタンプをしてさくらの木を満開にさせました。三春町もさくらが満開となり、当日はあいにくの天気でしたが、外を見ながら「同じだね」と、にこやかなスタートとなりました。



就労支援事業所・多機能型事業所

おおくま共生園 田村市(船引町)

雑祭り・復興・慰労会を行いました。

一年間の頑張りをみんなで分かち合い、美味しいお寿司やポップコーン、ケーキなどを食べました。その後はマスクを着用しながらのカラオケやクラブ活動で作った作品、令和3年度の抱負などを発表しました。



3月18日

多機能型事業所 田村 田村市(大越町)

春といえば、桜!!

4月3日

4月3日(土)、お花見ドライブに行ってきました。毎日の送迎で桜の開花状況は、ばっちり把握済みです。三春の滝桜周辺を目指して、いざ出発!!春の暖かな陽気の中、桜の花を見ながら散策し、みんなで一緒に記念撮影してきました♪ドライブでリフレッシュすることができ、大満足の日でした。



ワークスペース・アシスト 南相馬市(原町)

桜満開の4月1日、令和3年度のはじまりです!新しく1名の利用者さんが加わり、32名でのスタートです。職員も新たに1名配置され7名となり、よりきめ細かな支援を心がけたいと、気持ちを新たにしています。一緒に頑張りましょうね!!

4月1日





異動職員勢揃い！新しい職場でも頑張るぞ！！

INFORMATION

おおくま 共生園



おおくま共生園では、公益財団法人JKA（競輪とオートレース）2021年度授産機器の整備に係る補助事業に採択され、4月9日（金）、いわき平競輪場において補助金交付決定通知書交付式が執り行われ山田理事長が出席しました。

今回の補助事業で導入する予定の授産機器は、ロールアイロナー（洗濯されたシーツや布団カバー等を1枚ずつアイロンプレスするための機器）とサーモルフです。サーモルフは、ロールアイロナーから出る熱を屋外に放出するもので、室温の上昇を抑え作業環境が大幅に改善されることになります。

おおくま共生園で働く利用者が、日々楽しく生きがいをもち安心・安全に仕事ができる環境となり、更には作業効率が向上することで工賃アップに繋がっていききたいと思います。



田村地方基幹 相談支援センター

田村地方基幹相談支援センターは、田村市・三春町・小野町の三市町より業務委託を受け、障がいのある方やそのご家族、関係機関などから、障がいの種別や手帳の有無にかかわらず幅広く相談に応じる総合相談窓口として今年4月1日に開設されました。相談には、社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員などの専門スタッフが対応します。糸をつむぐように、人と人をつなぎ、互いに支え合うことができる地域づくりを進めていきたいと考えています。

おおくま 共生園



3月25日よりドライクリーニング工場を新設致しました。一般のクリーニング店以上の品質で取り組んでおり、地域住民の方々にも大変好評で顧客も少しずつ増えてきております。また羽毛布団や毛布、こたつ布団なども引き続き「格安」で承っておりますので、是非ご利用ください。

TEL0247-61-5381

あぶくま 更生園



マイクロバス購入

3月24日「(公財)中央競馬馬主社会福祉財団」様「(一社)福島馬主協会」様よりマイクロバス購入にあたり助成をいただきました。新しいバスでたくさんの思い出を作り上げていきます。利用者さんも新しいバスに乗り、外出できる日を心待ちにしております。本当にありがとうございます。

東洋学園 児童部



3月30日に(株)猪狩商店様より施設運営のための寄付金をいただきました。利用者さんが笑顔になれるような企画をいっぱい計画して楽しく、潤いのある生活になるよう取り組んで行きます。心温まるご支援ありがとうございました。

東日本大震災から10年を振り返って

東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故から10年が経ちました。長いようで短かったこの10年を振り返るに、様々なことがあったことが思い浮かびます。利用者と共に県内を転々と避難し、千葉県鴨川市まで避難したこと、福島県に帰還し、応急仮設住宅から施設建設、その後の施設運営に至るまでの紆余曲折の日々が思い出されます。中でも、避難に伴い数多くの職員の退職のことが脳裏から離れません。仲間を失うことがどれほどつらく寂しいものか、思い知らされました。また、帰還後の多くの職員を新たに迎入れ、どうにか事業運営が取れるようになってきました。今となっては、それぞれが成長し、事業運営に確かな実感として持てるようになってきました。

また、震災避難から復興にいたるまで数多くの個人、団体の方々から心温まるお言葉やご支援を頂きました。震災から10年が経ちましたが、今もなお交流がある個人、団体があります。本当に頭の下がる思いです。私ども、法人、施設を支えて頂きましたおひとりおひとりに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

あぶくま更生園 施設長 三瓶 直人

東日本大震災後私は、原町学園に4年、原町共生授産園に丸6年勤務しています。

平成23年3月11日、天災・人災から始まった避難生活。3か所目の避難先である「千葉県立鴨川青年の家」に落ち着いたのは、4月11日でした。ボランティアや物資等の温かい支援を感謝しきれない程受け、7か月後の11月23日、福島県相馬市に帰還することが出来ました。その日から保養所「ユートピア」で2施設合間の生活がスタートし、平成25年4月、原町共生授産園は2年ぶりに地元の南相馬市に帰還しました。地元へ帰還し事業再開できた施設は、原町共生授産園だけです。

10年が経過した現在、1年余り続いているコロナ禍対策で、利用者共々生きづらさを感じる時が多々あります。早く収束することを願いながら、住み慣れた地域で利用者が安心して、あたりまえの生活が送れる様これからも、精一杯支援していきたいと思ひます。

原町共生授産園 施設長 林 久子

(初めに、震災10年、愛情深く支えて下さった皆様に感謝申し上げます。)

原発事故、故郷の施設を追われるように、300名が身を寄せた事業所「たむら」。極寒、支援員と利用者が身を寄せ眠り、地元の方が持ち寄って下さった野菜でなんとか「汁かけ御飯」を啜る日々。それでも「暖かい御飯おいしい」との声に涙がこぼれた。

4月、着のまま「鴨川青年の家」に。なんとかか手にした日常に近い生活。初日のハンバーグ、利用者様の満面の笑みは忘れられない。支援員は疲れも見せず、慣れない生活の気分転換にと、利用者の手をとりドライブに散歩へと出かけた。

あの時、支援者は「利用者様に寄り添いその命を守る覚悟」と「何とかすっぺ精神」を持ち、利用者様はそれに応える様に、苦手な環境の変化にじっと耐え、不得意な事にも順応し、支援員に寄り添い、ともに乗り越えてくださいました。

想定外の災害に術なく、即断即決で乗り越えました。それを教訓に、災害マニュアルを更に検討し、日々訓練を積み重ねる日々。そして次世代職員には、あの時の精神も風化させることなく「利用者様の命を守る」を継承してほしいと思ひます。

東洋学園児童部 管理栄養士 小室 幸織

震災当時、私は南相馬市の原町共生授産園で支援員をしていました。この仕事に就いて間もない、徐々に職場に慣れ始めた頃の被災だったので、まだ右も左もわからないまま、利用者さん達との避難生活を送りました。早いもので、あれから10年が経ち、2度の職場異動を経て現在は東洋学園に籍を置いています。建物も新しく、一緒に働く職員の殆どが震災後に採用された方達です。お世話になった上司、先輩も大勢の方が退職され、いつの間にか自分が古株と呼ばれるようになり、繋がなくてはいけない事はあります。これからは新しい職員達と力を合わせて支援に励みたいと考えています。生憎のコロナ禍で、利用者さん達には少し窮屈な思いをさせてしまっているかもしれませんが、様々な困難を乗り越えてきた東洋学園ともうひと踏ん張りしたいと思ひます。

東洋学園成人部 支援員 猪狩 秀樹

メモ

早くも令和4年(来春)採用に向けた求人活動が始まっています。3.27(土)に第1回目の「就職フェア&見学会」を開催しました。田村、いわき、相馬・南相馬の3地区で計15名、ビックリするぐらいの参加があり、昨年とは状況が大きく変化しているようです。コロナ禍2年目となりますが、求人・求職活動も手探りが続くようです。

ひとこと

あれから10年経過しました。特集を組んでみましたが、言葉では言い尽くせない時の経過です。ここ数年で法人としてもやっと落ち着いてきましたので、新しい歴史のページを作るように、前を向いて一丸となって頑張ろうとの気持ちを強く抱きました。

編集後記

令和3年度がスタートしました。4.1(木)に異動者22名、新採用者13名に対する恒例の「辞令交付式」が行われました。新採用者の「一言コメント」を掲載していますが、12名が新卒者(4大卒5名、専門学校卒2名、短大卒5名)です。正に「ピカピカの社会人1年生」です。大切に育成しなければなりませんから、職場の先輩職員が親身になって教育・指導する「メンター制度」を導入しましたが、皆さまの“温かい”ご指導もお願いします。